

缶バッジの製品不良はなぜ起こる？

見落とされがちな 『パーツの品質ムラ』問題とその対策



はじめに

缶バッジの不良品、本当に「作業」や「マシン」のせいですか？

缶バッジの製品不良が発生すると、現場では「作業ミス」や「マシンの不調」が原因として疑われることが少なくありません。

しかし、作業手順を見直し、マシンをメンテナンスしても品質不良が改善しない——そんな経験はないでしょうか。

実は、こうした製品不良には、**パーツ品質のばらつき**、**「品質ムラ」**が**関係**していることがあります。この点は、意外と見落とされがちです。

本資料では、缶バッジの製品不良に影響する「パーツの品質ムラ」について、その原因と回避するための対策を解き明かしていきます。



目次

はじめに	1
こんな缶バッジの製品不良、発生していませんか？	2
缶バッジの製品不良、見落とされがちな原因とは？	3
「パーツの品質ムラ」はなぜ生まれるのか？	4
適切な品質管理体制が生む「良質なパーツ」とは	5
「パーツの品質ムラ」を防ぐ仕入れ先の見極め方	6
品質ムラを生まないために バッジマンネットの一貫した品質管理	7
高品質な缶バッジ製作ならバッジマンネット	8
おわりに	9

こんな缶バッジの製品不良、発生していませんか？

缶バッジの製作現場では、次のような製品不良が発生することがあります。



フィルム浮き

デザイン用紙とフィルムの間に空間ができている

サビ

金属パーツの表面が変色・腐食する

圧着不良

缶バッジの全周が強く綺麗に圧着できていない

傷・へこみ

表面へ細かい傷・へこみがつく



作業手順を見直し、マシンをメンテナンスしても、こうした不良が解決しない場合があります。

缶バッジの製品不良、見落とされがちな原因とは？

缶バッジの製品不良で見落とされがちな原因のひとつが、パーツの品質にばらつきが生じる「品質ムラ」です。

パーツの品質ムラとは、同じ規格であっても、ロットや個体によって寸法や表面処理などに微妙な違いが生じることです。

このような品質ムラは、サンプルを数個確認しただけでは判断できません。サンプルでは問題がなくても、別ロットでは品質にばらつきが生じる場合があります。

品質ムラをゼロにすることは現実的ではありません。しかし、品質ムラが大きいほど、缶バッジの仕上がりに影響し、製品不良が発生するリスクも高まります。

●「パーツの品質ムラ」がもたらす缶バッジ製作への影響

	◎ 品質が安定したパーツ	✕ 品質ムラが大きいパーツ
パーツの状態	寸法や表面処理のばらつきが少ない	ロットや個体によるばらつきが大きい
製作への影響	一定の条件で安定した仕上がりになりやすい	同じ条件でも仕上がりに差が出やすい
生産性・コストへの影響	作り直しが少なく、 生産性やコストへの影響を抑えやすい	作り直しが増え、生産性やコストに影響しやすい

缶バッジの製品不良が発生した際には、作業方法やマシンだけでなく、パーツの状態も確認する必要があります。特に品質ムラが大きいパーツでは、原因の特定に時間を要することになるでしょう。その結果、調査や作り直しに時間がかかり、生産性の低下やコスト増加につながる可能性があります。

次のページでは、このパーツの品質ムラがなぜ生まれるのか、その背景について詳しく解説します。



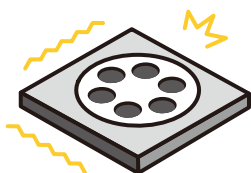
「パーツの品質ムラ」はなぜ生まれるのか？

パーツの品質ムラは、偶然発生するものではありません。

パーツの製造から検査、保管まで、さまざまな工程における品質管理の違いによって生まれます。

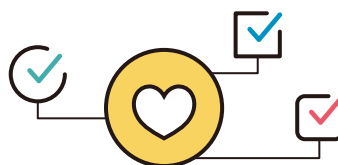
製造設備・金型の管理

プレス機などの製造設備や金型の状態が適切に管理されていないと、パーツの寸法や形状にばらつきが生じる可能性があります。



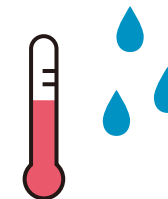
検査体制

製造後の検査基準や検品体制が十分でない場合、寸法や形状のばらつき、表面の傷やメッキの不具合などを見逃す可能性があります。



保管環境

製造時の品質に問題がなくても、保管環境によってはパーツの状態が変化することがあります。高温多湿な環境ではサビやメッキの劣化が起こりやすく、長期間の保管によって傷や変色などが生じる可能性もあります。



こうした品質管理の水準は、産地単位で一律に決まるものではありません。

メーカーや工場ごとに差があるため、「日本製だから安心」「海外製だから不安」と安易に品質を判断することはできない点に注意が必要です。



缶バッジの「パーツの品質ムラ」の大小を見極めるには、パーツそのものだけでなく、どのような品質管理のもとで製造・供給されているかを確認することが重要

適切な品質管理体制が生む「良質なパーツ」とは

では、適切な品質管理体制のもとで作られた良質なパーツには、具体的にどのような特徴があるのでしょうか。
主に次の4つの特徴があります。

「良質なパーツ」の4つの特徴

外観

メッキ表面にムラや傷、へこみ、変色がない。梱包状態も良好である。



表面の状態は、そのまま完成した缶バッジの見た目の仕上がりに直結する。

寸法精度

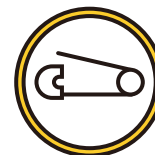
規格どおりの直径・厚みで製造されている。



わずかな寸法差でも、圧着時の力のかかり方にばらつきが生じ、仕上がりの均一性に影響する。

バックパーツの性能

ピンやクリップなどの可動部がスムーズに動く。



可動部の精度が低いと、完成後の使用感や耐久性に差が出る。

バリ処理(内バリ)

金属のバリ(切断面の凹凸)が少ない。



巻き込み不良やフィルム浮きの起こりにくさに直結する。

こうした良質なパーツを仕入れたいと考えても、実際にはパーツを手にとらなければ確認できない項目も多く、届く1つひとつについてこれらすべてを**毎回チェックし続けるのは容易ではありません**。

そのため、パーツ単体の品質だけを見るのではなく、**安定した品質のパーツを継続して供給できる供給元(仕入れ先)を選ぶことが重要になります**。

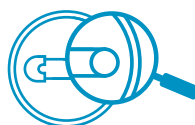
「パーツの品質ムラ」を防ぐ仕入れ先の見極め方

品質ムラが少なく、品質管理が行き届いたパーツ仕入れ先は、どのようなポイントで見極めたらよいでしょうか。
ここでは、5つのチェックポイントを紹介します。



現物サンプルで確認できるか

カタログや写真だけでなく、複数のサンプルを実際に確認し、ロットや個体による品質のばらつきが少ないか確認できるか。



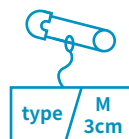
保管環境・サビ対策が徹底されているか

適切な温湿度管理のもとで保管され、保管中の劣化や品質ムラを防ぐ体制が整っているか。



マシンとの適合性を明示しているか

パーツの規格が使用するマシンとどこまで整合するかを、明確に案内しているか。※



不具合発生時のサポート体制があるか

パーツ品質に問題があった際、迅速な調査や交換対応などのサポートを受けられるか。



安定供給ができるか

パーツ品質を維持したまま、継続して安定供給できる体制が整っているか。



※表記上のサイズが同じでも、メーカーによって寸法や規格がわずかに異なる場合があります。

これらの条件を満たす仕入れ先を選ぶことで、パーツの品質ムラを抑え、缶バッジの製品品質の安定につなげることができます。
次のページでは、こうした品質管理を実践する「バッジマンネット」をご紹介します。

品質ムラを生まないために バッジマンネットの一貫した品質管理

バッジマンネットでは、安定した品質のパーツを供給するために、パーツの品質ムラを最小限に抑える次のような取り組みを行っています。

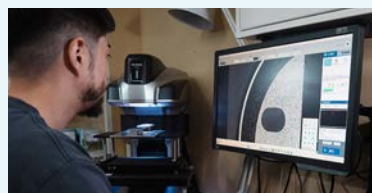
パーツ品質

厳選したアメリカ製・国産パーツ

バッジマンネットでは、**缶バッジの本場であるアメリカ製パーツ**と、**自社開発の国産パーツ**を厳選して取り扱っています。それぞれ次のような特徴を持ちます。

アメリカ製パーツ	プレス断面が均一で、内バリ加工も施され、仕上がりの品質に優れている
国産パーツ	3D測定器による寸法誤差の測定をはじめ、厳しい品質基準に基づいた検査を実施し、安定した品質を維持

さらに、バッジマンネットで扱うパーツは、当店の**缶バッジマシンとの適合性を保証**しています。規格の違いによる製品不良を防ぎ、安心してお使いいただけます。



3D測定器による
寸法・外観の検品作業

管理体制

品質を維持する保管・検品

パーツは**空調設備を備えた専用倉庫**で保管しています。屋根には遮熱処理を施して外気の影響を抑えるなど、温度・湿度を適切に管理し、高温多湿によるサビや品質劣化を防止する体制を整えています。さらに、防錆紙「CORTEC VpCI-146」を使用し、定期的な交換も欠かしません。

保管中のパーツは**定期的に検品**を行い、結露やサビ、メッキの劣化などを確認しています。異常があれば早期に対応する体制を整えており、在庫として保管している間の品質劣化にも一切妥協していません。

こうした**地道な品質管理の積み重ね**が、お客様の安定したものづくりを支えています。



防錆紙「CORTEC VpCI-146」を
使用した小分け保管



空調設備を備えた専用倉庫での
パーツ保管

次のページでは、バッジマンネットについてもう少し詳しくご紹介します。

高品質な缶バッジ製作ならバッジマンネット



バッジマンネットは2009年創業の缶バッジマシン・パーツ専門店です。

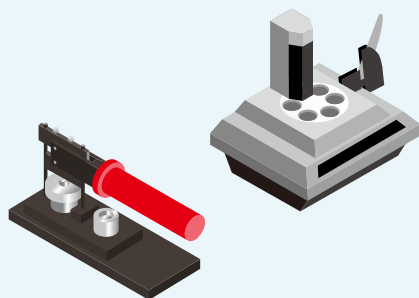
缶バッジ製作を支えるパートナーとして、さまざまな分野の法人・個人の皆さまにご利用いただいています。

バッジマンネットが選ばれる3つの理由

1

缶バッジマシンからパーツまで すべてがそろう

缶バッジマシンは**手動・セミオート・全自動型**まで幅広い種類を取り揃えています。パーツは**多様な形状やバックパーツ**から選べるため、用途に合った組み合わせを見つけやすいのが特徴です。

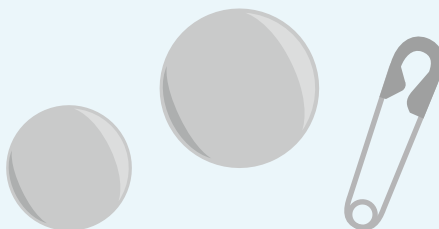


2

豊富なパーツ在庫で 翌日配送にも対応

主要パーツを常時30～100万個在庫し、関東・関西の主要地域へは最短翌日配送にも対応しています。

小ロットのご注文にも対応。自社で大量のパーツを保管する必要がなく、必要なときに必要な数量だけをご注文いただけます。



3

専門店ならではの 手厚いサポート

万が一缶バッジマシン・パーツに不具合があった場合も、電話・メールでのご相談に迅速に対応しています。

シリアルナンバーを付与した**缶バッジマシンは安心の保証付き**で、購入後の不具合や定期メンテナンスにも対応。保証期間を過ぎた場合でも修理(有料)を行っており、長くご利用いただけます。

サイト上には缶バッジ製作に役立つ**動画・コラム・お役立ち資料を無料公開中**。AIチャットボットも用意しているため、いつでも自分のペースで疑問を解決できます。

おわりに

本資料では、缶バッジの不良に影響する「パーツの品質ムラ」について、その原因と良質なパーツ、さらには仕入れ先の見極め方を解説しました。

品質ムラを完全になくすことは難しくても、品質管理が徹底されたパーツや供給元を選ぶことで、品質ムラを抑え、缶バッジの製品品質の安定につなげることができます。

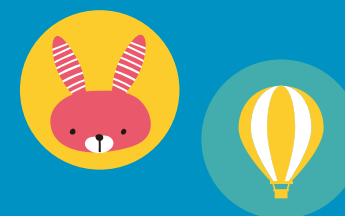
パーツを選ぶ際は、価格や納期だけでなく、**品質管理体制や安定供給への取り組みにも目を向けることが重要**です。



バッジマンネットでは、徹底した品質管理のもと、品質ムラの少ない高品質なパーツの提供に取り組んでいます。

現物サンプルのご提供や品質に関するご相談にも対応し、安心して使えるパーツ選びをサポートしています。

パーツ選びでお悩みの際は、ぜひお気軽にお問い合わせください。



問い合わせ・資料請求・サンプル請求はこちら

お問い合わせ：缶バッジマシン&パーツ専門店 ▶

資料請求・サンプル請求 ▶